

ジャパン・クラウド・コンソーシアム 設立趣意書

クラウドサービスは、情報通信分野におけるパラダイムシフトを起こしつつあります。ここ10年で急速な普及を遂げてきたインターネットやそれを支えるブロードバンド基盤の構築が進み、情報通信分野の利活用の在り方を大きく変えようとしています。

情報通信分野はあらゆる社会経済活動の基盤となる戦略的分野であり、国民主役の社会を構築するとともに、我が国経済を新たな成長軌道に乗せ、国際競争力を強化するための中核となる産業であります。そして、クラウドサービスは今後の情報通信分野の柱の一つとなるものであります。

現在、クラウドサービスの世界的な普及が進む中、我が国におけるクラウドサービスの創出・普及が遅れると、我が国情報通信産業全体の「空洞化」を招き、国際競争力が著しく低下することが懸念され、早急に取り組む必要があります。

こうした状況を踏まえ、利用者視点で幅広い分野においてクラウドサービスの標準モデル化を推進するとともに、企業や産業の枠を超え、クラウドサービスの普及を産学官が連携して総合力を発揮しつつ推進するため、民間団体として「ジャパン・クラウド・コンソーシアム」の設立を企画いたしました。

本コンソーシアムでは、クラウドサービス関連企業・団体等におけるクラウドサービス普及に向けた様々な取組みについて情報の共有化や新たな課題の抽出等を行うことを目的に、様々な分野の知見を結集して戦略的・総合的な検討を行うとともに、本コンソーシアムの活動を通じて、クラウドサービスに関する国際的な検討の中で、先導的かつ主導的役割を果たしていく決意であります。

平成22年12月2日
設立発起人代表 宮原 秀夫